

広報 川越

特別号

平成28年12月10日

ユネスコ無形文化遺産登録

国指定重要無形民俗文化財



川越氷川祭の山車行事
(川越まつり)





蔵造りの町並みを巡行する神幸祭の様子

川越氷川祭の山車行事

川越氷川祭の始まりは、慶安元年（1648）に藩主松平信綱が神輿・獅子頭等を奉納したことがきっかけとなりました。

その後は、元禄11年（1698）に踊り屋台が出始め、江戸時代中期から華やかな行列を仕立てた、見せる祭りへと変化していったものと考えられます。

江戸時代中期の享保年間に描かれたとされる祭礼絵巻には、2基の神輿に続いて十ヶ町が出した華やかな祭礼行列が描かれています。当時の山車は、4人で担ぐ小さなものでした。その後、文政9年（1826）の祭礼を描いた「川越氷川祭礼絵巻」では、山車は大型化し、車輪の付いたものも描かれています。その他、歌舞伎や能などに起源があると思われる舞踊が演じられていたようです。また、朝鮮通信使や酒呑童子の仮装行列など当時の流行を取り入れた出し物もありました。これらは、天下祭と呼ばれた江戸の山王祭、神田祭の影響を強く受けています。

明治維新後、川越商人たちは、自分たちで祭礼を行うようになっていきます。祭礼行列の主役であった屋台の上での日本舞踊や仮装行列などが徐々に衰退し、山車中心の祭礼に変化していきました。山車の囃子台の上に唐破風がつき、囃子台は回転するようになり、現在も脈々と伝統を受け継いでいます。



～ 小ノ澤哲也市議会議長 ～



このたび、川越氷川祭の山車行事を含む「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産登録に決定いたしましたことを大変うれしく思います。また、33件の日本の祭りが、世界に向け広く発信され、多くの方に知ってもらえることは、とても素晴らしいことと感じております。

伝統を受け継ぎ、大切に守り育てられてきた祭りに、より一層の誇りを感じるとともに、この伝統が末永く続きますよう、皆様と共に支えていきたいと思っております。

～ 川合善明市長 ～



このたびの川越氷川祭の山車行事を含む「山・鉦・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録は、山車を持つご町内はもちろんのこと、神社関係者、祭り囃子を披露する囃子連、組立や山車操作で祭りを支える職人の方々、修理に携わるの方々など、祭りに係わる全ての関係者の想いが結実したものであり、大変喜ばしく思っております。

この名誉の重みを充分に感じるとともに、川越氷川祭の山車行事が江戸の天下祭の様式を今に受け継ぐ祭りとして続けられるよう、行政の立場からも一層サポートしていきたいと思っております。

川越氷川祭の山車行事（川越まつり）が



ユネスコ無形文化遺産 とは

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）は国際連合の下に置かれた専門機関の一つです。ユネスコが行っている仕事の中に、無形文化遺産の認定と保護などがあります。

無形文化遺産とは、文字どおり形がないもので、具体的には芸能・社会的習慣・伝統工芸技術などが対象となっています。

ユネスコは、これらを保護し、重要だという意識を高め、多様な文化を尊重することなどを目的として「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」というリストを作成しています。このリストに記載されることが、ユネスコ無形文化遺産ということになります。

登録について

川越氷川祭の山車行事を含めた全国33件の「山・鉾・屋台行事」が平成28年10月31日にユネスコの評価機関から勧告を受けた後、同年12月1日に開催された政府間委員会により、ユネスコ無形文化遺産として記載が認められることとなりました。

「山・鉾・屋台行事」とは、山車や山鉾、屋台などの巡行を中心とした祭礼で、主に地域社会の安全、災いを防ぐ祈りを目的としています。

ユネスコ無形文化遺産登録記念

■記念イベント(12月17日(出))

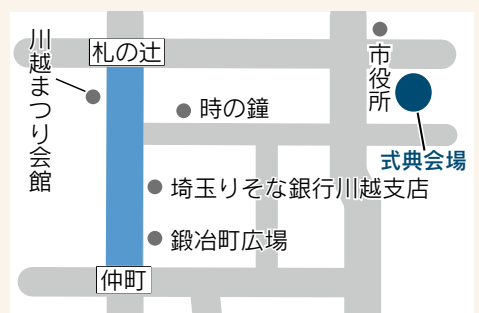
- 式典(午前10時30分～11時30分)＝市役所南側駐車場
- 山車曳き(午後1時～3時30分)＝一番街
- *雨天の場合、山車曳きは中止となります

■施設の無料公開(12月2日(金)～28日(水))

川越まつり会館、市立博物館、川越城本丸御殿、市立美術館、旧山崎家別邸を無料公開します。

*各施設は、期間中休館日があります。ホームページまたは各施設にご確認ください

12月17日(出)の交通規制 正午～午後4時



■川車両通行止

～川越氷川神社 山田禎久宮司～



歴史ある祭りは、先人たちが懸命に守りつなげてきたものです。今回のユネスコ無形文化遺産への登録決定を受けて、そうした絶え間ない継承の先にある現在の私たちが、次の世代に、この歴史ある文化を伝えていくことの大切さを改めて感じることができました。

今回の決定が、この祭りを保存継承する方々の、さらなる誇りにつながるものになるとうれしく思います。

今後も川越の祭り文化を伝えていくために、氷川神社としてもさらに努力をしていきたいと思ひます。

～川越氷川祭の山車行事保存会 笠原啓一会長～



このたび、川越氷川祭の山車行事が、全国33件の「山・鉾・屋台行事」とともに、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。このことは「川越氷川祭の山車行事保存会」「山車保有町内協議会」の会員だけでなく、多くの市民の方が喜んでくれると思います。先人たちが残してくれた川越の祭りが世界の文化遺産として価値あるものと認められたことは大変うれしいことです。これを機に、大事な文化遺産を次世代に引き継ぐ大切な役目を果たせるよう、保存会や市民の皆さんと共に頑張っていきたいと思ひます。

全国33件の「山・鉾・屋台行事」

「川越氷川祭の山車行事」を含めた全国33件の「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

- ①八戸三社大祭の山車行事 (青森県八戸市)
- ②角館祭りのやま行事 (秋田県仙北市)
- ③土崎神明社祭の曳山行事 (秋田県秋田市)
- ④花輪祭の屋台行事 (秋田県鹿角市)
- ⑤新庄まつりの山車行事 (山形県新庄市)
- ⑥日立風流物 (茨城県日立市)
- ⑦烏山の山あげ行事 (栃木県那須烏山市)
- ⑧鹿沼今宮神社祭の屋台行事 (栃木県鹿沼市)
- ⑨秩父祭の屋台行事と神楽 (埼玉県秩父市)
- ⑩川越氷川祭の山車行事 (埼玉県川越市)
- ⑪佐原の山車行事 (千葉県香取市)
- ⑫高岡御車山祭の御車山行事 (富山県高岡市)
- ⑬魚津のタテモン行事 (富山県魚津市)
- ⑭城端神明宮祭の曳山行事 (富山県南砺市)
- ⑮青柏祭の曳山行事 (石川県七尾市)
- ⑯高山祭の屋台行事 (岐阜県高山市)
- ⑰古川祭の起し太鼓・屋台行事 (岐阜県飛騨市)
- ⑱大垣祭の軸行事 (岐阜県大垣市)
- ⑲尾張津島天王祭の車楽舟行事 (愛知県津島市・愛西市)
- ⑳知立の山車文案とからくり (愛知県知立市)
- ㉑犬山祭の車山行事 (愛知県犬山市)
- ㉒亀崎潮干祭の山車行事 (愛知県半田市)
- ㉓須成祭の車楽船行事と神葎流し (愛知県蟹江町)

- ㉔鳥出神社の鯨船行事 (三重県四日市市)
- ㉕上野天神祭のダンジリ行事 (三重県伊賀市)
- ㉖桑名石取祭の祭車行事 (三重県桑名市)
- ㉗長浜曳山祭の曳山行事 (滋賀県長浜市)
- ㉘京都祇園祭の山鉾行事 (京都府京都市)
- ㉙博多祇園山笠行事 (福岡県福岡市)
- ㉚戸畑祇園大山笠行事 (福岡県北九州市)
- ㉛唐津くんちの曳山行事 (佐賀県唐津市)
- ㉜八代妙見祭の神幸行事 (熊本県八代市)
- ㉝日田祇園の曳山行事 (大分県日田市)

関東地方で登録された「山・鉾・屋台行事」

*数字は一覧表の数字を表しています。



広報川越特別号

発行日/平成28年12月10日

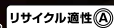
発行/川越市 〒350-8601埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawago.saitama.jp/>

市役所代表 ☎049-224-8811 ☎049-225-2171

編集/広報室

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁じます。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。



Fontworks
UDFont